

クラシックパワーリフティング選手権大会

感染症対策ガイドライン

Ver.1.1.5

令和5年3月13日

【最初に】

京都先端科学大学は厚生労働省のみならず学内で設定している感染症対策を遵守し、学生・教職員が感染予防に力を入れ学校生活を送っています。今大会が原因でのクラスターにおいては大学側に多大なるご迷惑をおかけします。選手・役員・関係者の皆様におかれましては、本ガイドライン並びに大学側が必要とするガイドラインを遵守するようお願い申し上げます。

【日々の体調確認（大会当日まで）】

- ① 感染を疑う異常を認める場合又は感染者との14日以内の濃厚接触を疑う場合は参加・来場を認めません。

- ② 各自の居住地や勤務地の感染状況等に留意し、行動をして下さい。

- ③ 公共交通機関を利用される場合は、混雑時の移動を避けるように心がけてください。

- ④大会主催協会が要求する一般的事項に従っていただけない場合は大会に参加をしていただくことができません。

【会場への入館時】

- ① 入館時に受付で JPA の問診票を提出し、当日の体調・マスク(種類)チェック・検温・手指の消毒を受け、入場可否の判定を受けて下さい。参加を許可した方には許可証をお渡しします。館内にいる時には携帯し退館時に受付に返却をしてください。

※当日に下記の症状・状況がある方は入館ができません。

- ・ 37.5 度以上の発熱がある。
 - ・ 軽度であったとしても風邪の諸症状（咳、咽頭痛、強いけだるさ）がある場合。
 - ・ 同居家族や知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる、もしくは感染が疑われる人と接触した場合。
 - ・ JPA 問診票に不備あり、入館不可の判定を受けた場合。
 - ・ 不織布以外のマスクを着用していた場合。
 - ・ 主催者側の一般的要求に従えない場合。
 - ・ 大会日前日から起算して 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ② 必ず、入館前から、マスクを着用するようにしてください。マスクは、鼻と口を完全に覆うように着用してください。
※マスクの種別は不織布のみとします。
 - ③ 入館手続きの待機中も、三密にならないように周囲とのソーシャルディスタンス等に注意して下さい。
 - ④ 入場者、退場者は受付で管理を行い館内に入場している人数の把握を行う。
 - ⑤ 体育館内への入場最大人数は 4 5 名までとする。

【施設の利用について】

- ① 施設の利用は大会に参加申し込みをした選手、主催協会が指定した役員・スタッフ・関係者で当日の受付時に入館を許可された方に限ります。
- ② 館内では、原則として常に不織布マスクを着用し、こまめに手洗い及び手指の消毒を行ってください。
- ③ 周囲の人との距離を開けるようにしてください。
- ④ 会場は定期的な換気を実施します。換気のために開放している会場の扉や窓には触れないようにしてください。

- ⑤選手・役員・スタッフともに大声を出さないように注意して下さい。
- ⑥ゴミは各自でお持ち帰りを徹底してください。特にマスク、フェイス・マウスシールド、消毒に使用した布などは絶対、館内に捨てることのないようにお願いします。
※消毒に使用した布、マスク、フェイス・マウスシールドなどの廃棄物は所定の場所に廃棄する。
- ⑦当日は2F観客席及びアリーナ施設は使用できません。
- ⑧冷水器の使用はできません。自動販売機は動いておりますが、数に限りがあるため、水分等は自身で持参するようにしてください。

【食事について】

- ①食事については選手・役員共に所定の場所以外での食事を禁止します。
食事場所：白雲ホール1階
※白雲ホール以外の場所での食事を認めない。
- ②食事については密を避け、会食的な状況は行わず、同方向に向く着席姿勢とします。また、飲み物の回し飲み等感染確立の高くなる行為は一切禁止します。**なお、食事中は黙食を徹底してください。**
- ③食事が終了し次第、速やかに退出し、出来る限り全員が速やかに食事をとれるようにしてください。

【更衣について】

- ①更衣室は、第2クラブハウスの男女更衣室を利用し、体育館更衣室は更衣目的での使用を禁止します。
第2クラブハウス男女更衣室 定員：女子4名、男子8名
※更衣室等を利用する場合、指定された位置での更衣とします。なお、定員に達した場合の入室は認めません。その場合は外で待つようにしてください。
- ②使用前の消毒は主催協会で行います。

【大会・競技進行について】

- ①無観客で大会を行い、セコンドは原則なしとする。
※ただし、高校生などにおいては、申し出があった場合につき、一校につき1名、責任教諭及び保護者の帯同を許可する。体調チェックリストなどの提出は同様に行。
- ②検量は男女とも3密になることがないよう換気などに気を付けて実施してください。

体重計は検量を終了する毎に消毒を行ってください。

※室内はレフリー1名、選手1名の実施を原則としてください。

- ③特にコスチュームチェック（以下：CC と記載）や検量は選手を並ばせないように配慮（ex. 検量は Lot 番号順、CC はその逆の順番から呼び出す等、選手に不利益が生じないよう考慮）して下さい。どうしても並ばせないといけない場合は、選手の間隔をレフリーが指示してください。
- ④レフリーはコスチュームチェック時など、医療用ディスポーザブル手袋などを使用し、選手のコスチュームなどに直接触れないようにする。
- ⑤大会進行に関わるセッション間及び1グループの人数に余裕を持ち進行して下さい。
- ⑥ウォームアップエリアは十分な広さを確保し密集しないようにして下さい。
アップエリアは直近の試技に関する選手と指定されたスタッフ以外は立入ることができません。選手同士、協力してプレートの付替えを行ってください。
- ⑦開会式・表彰式・閉会式などのセレモニーは行いません。賞状は後日、所属団体等に郵送させていただきますので、ご自身の競技が終了されたら、速やかな帰宅を心掛けてください。
- ⑧チーム等での円陣なども禁止します。
- ⑨競技時間は8：00～18：00 とします（撤収時間を含む）。
競技時間には限りがあります。全員で協力し、競技・ウォーミングアップを行いましょ。

【レフリー・役員について】

- ①審判員・陪審員・役員・スタッフは担当実務中以外でもマスクの着用を義務とし、重量申請カードを扱う役員はディスポ手袋を使用してください。
- ②主審はマスクに加えてフェイスシールドを付ける。しかし、選手との間にアクリルボードなどの仕切りがある場合はマスクのみで構わない。
- ③補助員は全員マスク着用の上、滑り止め加工が施されている手袋を装着し補助にあたって下さい。ベンチプレス時のセンター補助を行う補助員はフェイスシールドを着用してください。

④バーの消毒は試技毎に実施をして下さい。

⑤滑り止めは大会主催者側では用意をしません。選手個人が液体炭マグを持参するようにしてください。

【中止の判断】

新型コロナウイルスの感染状況によっては、大会を急遽中止することがあります。これらの対応の判断にあたっては、京都府パワーリフティング協会・日本パワーリフティング協会・京都先端科学大学で協議し、必要に応じて関係者からの意見を聴取し、決定することとします。

【その他】

本ガイドラインは、必要に応じて改定します。

- ・2020年11月15日改訂
- ・2021年3月23日改訂
- ・2022年2月21日改訂
- ・2022年3月23日改訂
- ・2023年3月13日改訂